

花の略奪

駄作
美雨



昔むかしあるところに
王子候補生とその男娼が
おりました。

王子の卵は男娼に恋をし、共に
王子育成機関から逃げ出しました。

しかし逃亡は失敗。
二人の仲は引き裂かれてしまいました。



なんとということをして…
王子を誘惑し
拳句に逃亡するなど…

こんなものさつさと
処分致しましょう！

処罰を軽くすれば！
また誑かされるものが
出るかもしれん！

しかしだな…
あれほどの優秀な男を
庶民に
流してしまうのは…！

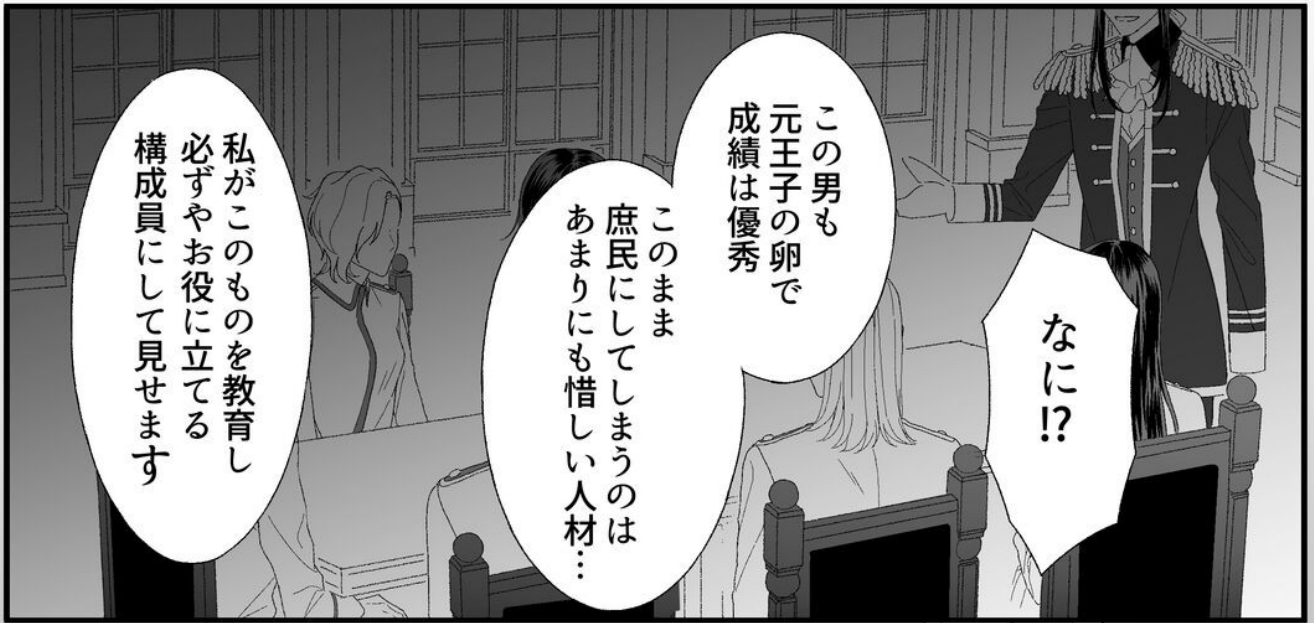
お待ち下さい

おお…
グリフィス

貴君の弟を
誑かした男の
処罰を
今話している最中だ

そのことなの
ですが

この私に
ユーリ・ラプチェフを
任せていただけませんか？



私がこのものを教育し
必ずやお役に立てる
構成員にして見せます

この男も
元王子の卵で
成績は優秀

このまま
庶民にしてしまうのは
あまりにも惜しい人材…

なに!?



わかった
ユーリに関して
其方に任せよう

…

うむ…

しかし…!

ガ
タ
ン
ツ



高等部進学までに
組織のお役にたてるよう
必ずや教育して
見せましょう

ありがとうございます
ございます

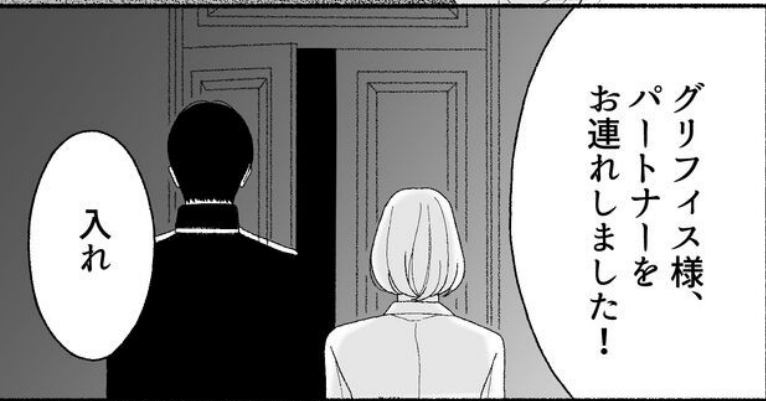


ああ：
ヴァインセントは
無事だろうか：



ほら！
きちんと歩け

痛っ！



入れ

グリフィス様、
パートナーを
お連れしました！



え…

グレイブ様…



やあ

久しぶりだね
ユーリ



ヴァインセントは
大丈夫だよ

君のせいで目を負傷をしてね
学校に戻ることが出来るかは
まだわからないが…



はっ

下がっていい



どうして
グリフィス様が…

ヴァインセントは
無事
なのですかっ!!



ヴァインセントは
悪くないんですっ!
私を救い出そうと
しただけで!

彼は一国の王子に
ふさわしい人間
なんです!



そんな…



そうだね

だけど
君も知っている通り
パートナーと
駆け落ちをするのは
規律違反

我が弟ながら…
アイツは一族の面汚しだ



君も可哀想に
優秀な王子の卵
だったのに

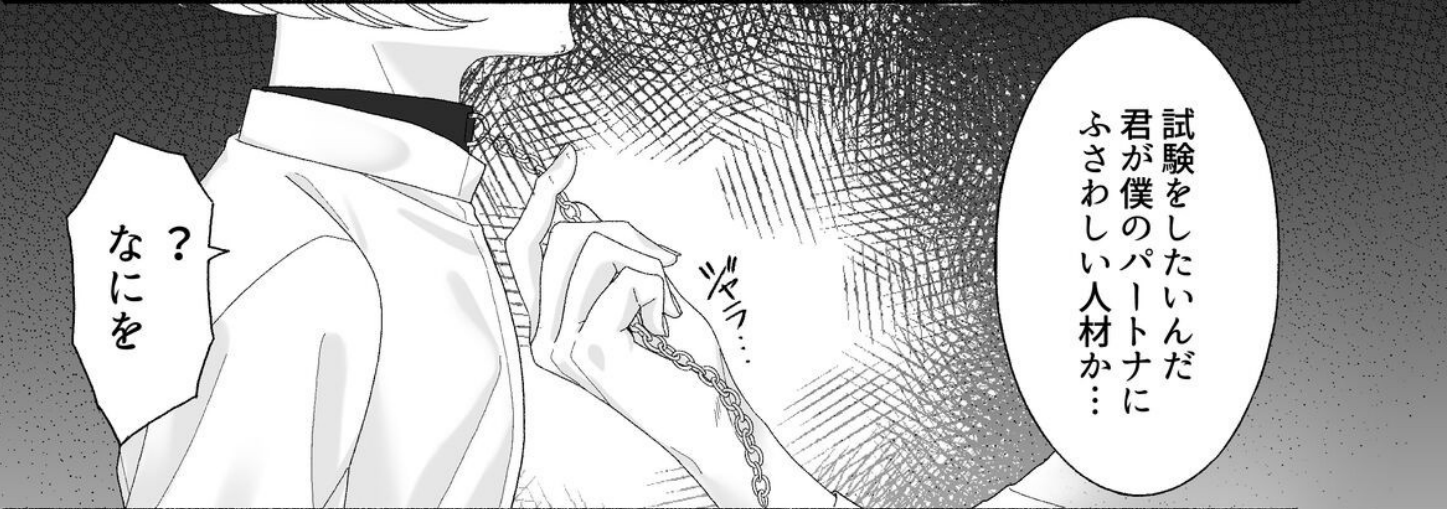
生殖機能がなく
王子の資格を失い
男娼に落とされるなんて



私達を
どうしたいのですか!!

あなたの目的は
なんですか!

そんなことは
どうでもいいんです



?
なにを

試験をしたいんだ
君が僕のパートナーに
ふさわしい人材か:



ぐっ!

ふふ
そんなに怯えなくても
大丈夫だよ



やめて
下さい...!

ハキッ

なっ...!!
いやっ!!



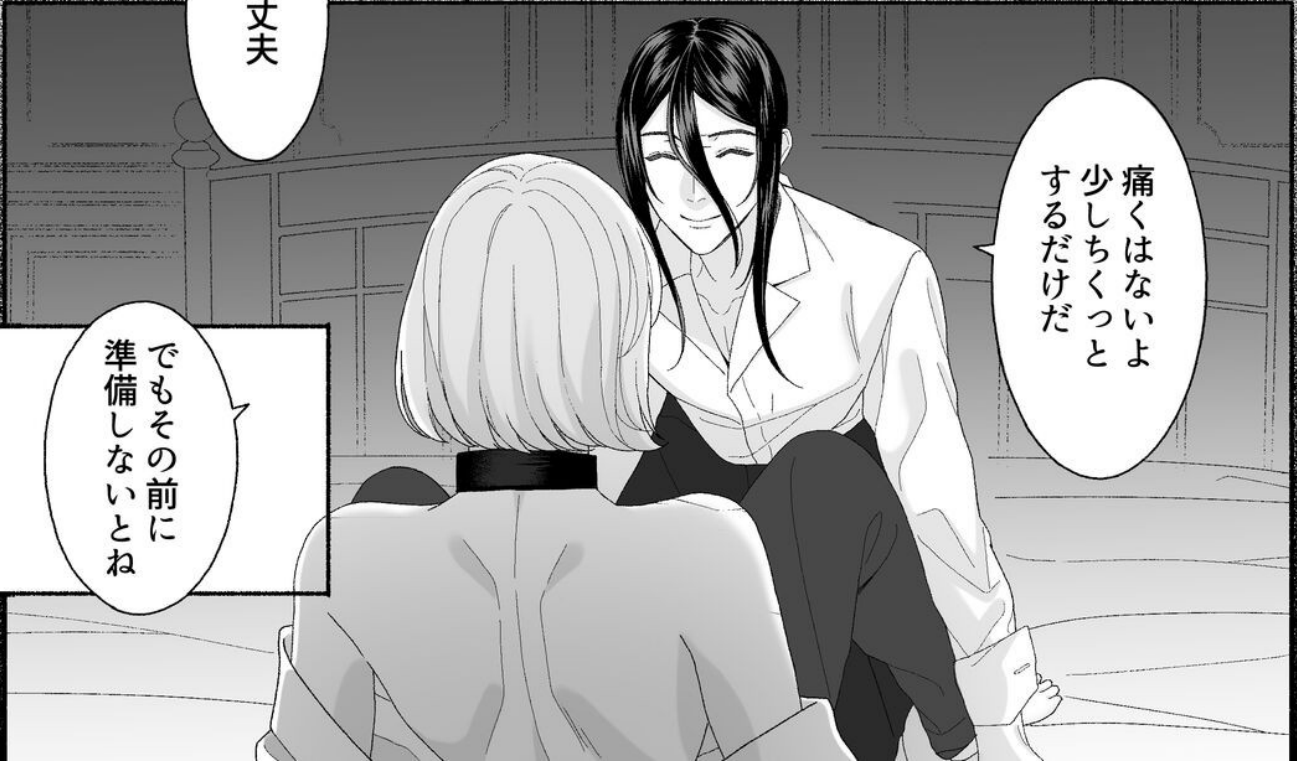
まず、初めは




このリニツプルリングで
どれだけ耐えられるかだね



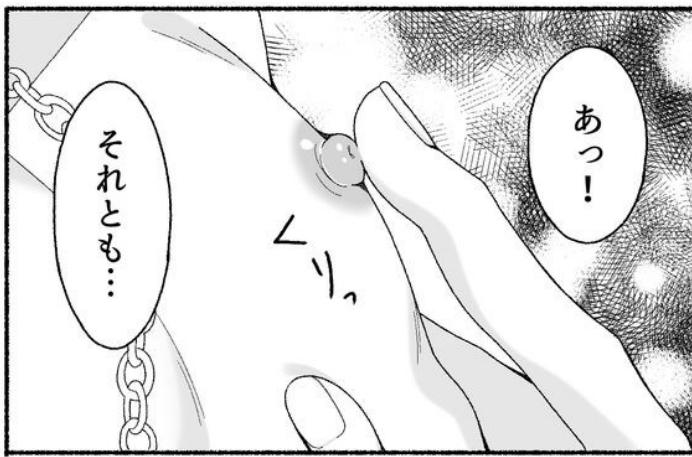
大丈夫



痛くはないよ
少しちくつと
するだけだ



でもその前に
準備しないとね



やっぱりやめよう！
こんなのは間違ってる

ヴァインセント…



いつかヴァインセントが
素敵なお姫様と
結ばれるために
必要なことだと
ボクは思う

いくら、女性と
性行出来ないからと
友をこんな男娼のような！

ヴァインセントは
王になるんだから

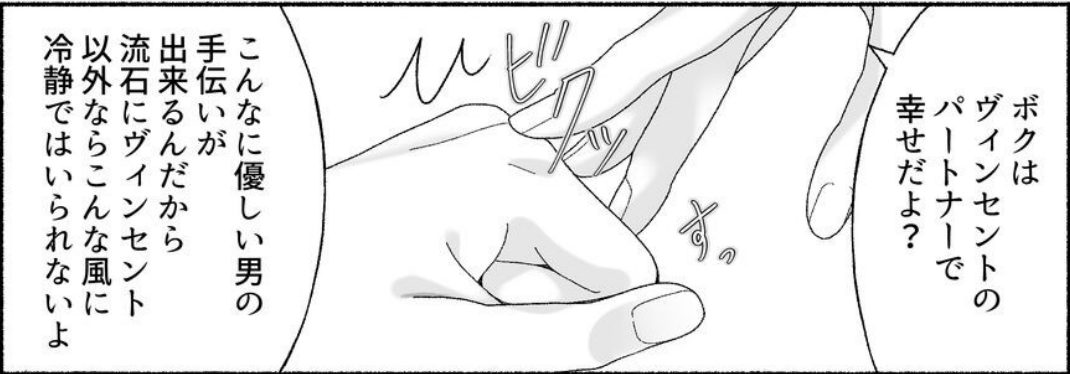
ボクなんかじゃ
その気には
なれないだろうけど…





そんなことは…

そんなことない！



こんなに優しい男の手伝いが出来るんだから流石にヴァインセント以外ならこんな風に冷静ではいられないよ



ボクはヴァインセントのパートナーで幸せだよ？



ユーリ

だから大丈夫…



んんっ…

ひ
ちや
ひ
ちや



ヴィンセント…

すりっ



綺麗な
ピンクだな…

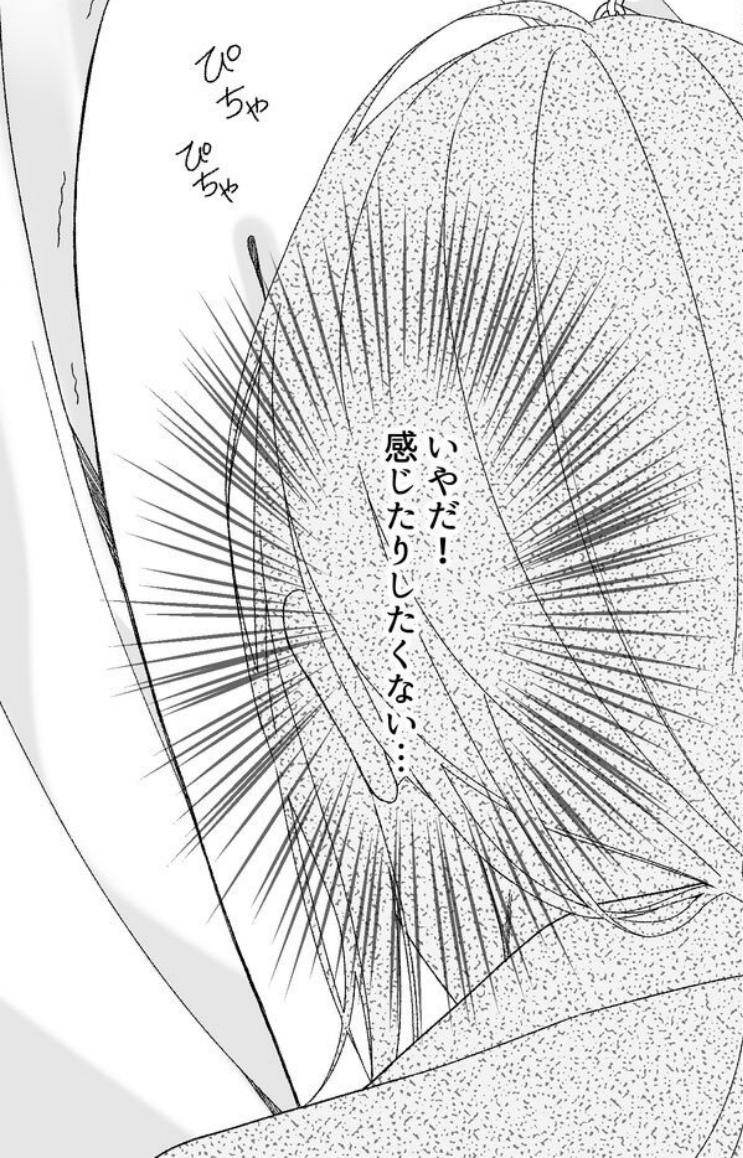
ふう

びん
ぐっ



あっ

ちゅう



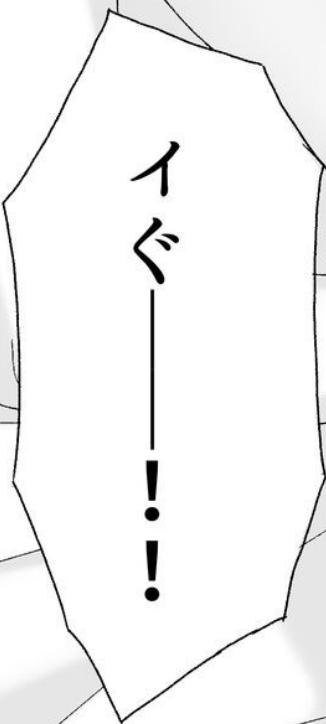
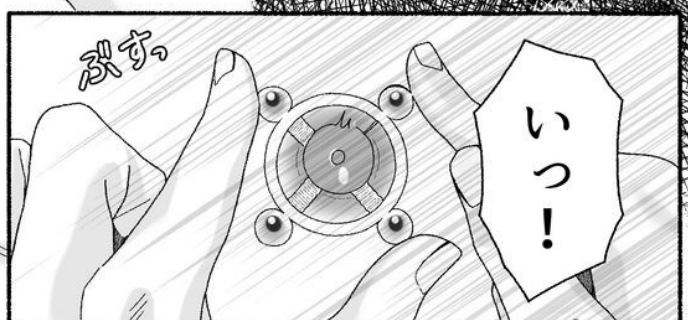
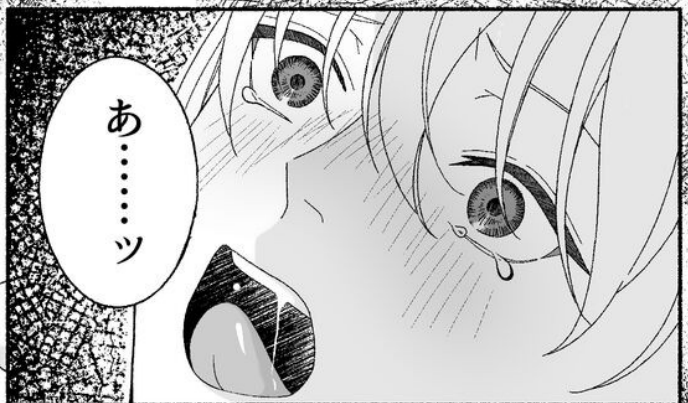
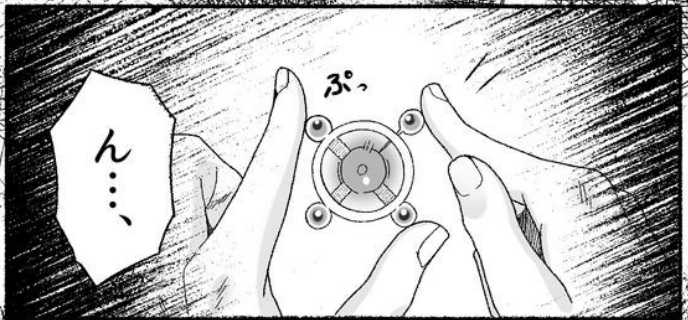
いやだ！
感じたりしたくない…



あああ

ちゅ







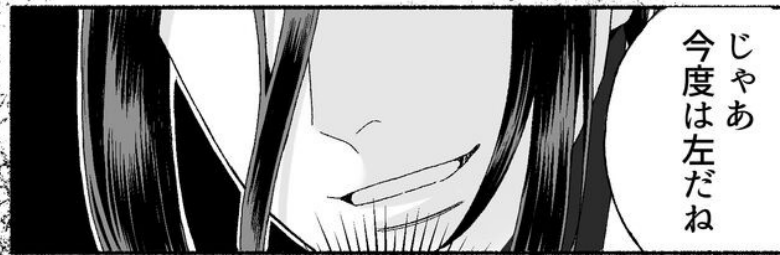
イッたのかい？

ダメだろう？
まだ片方しか
装着してないのに



こんなにズボンを
ぐしよぐしよにして

なな
なにこれ…



じゃあ
今度は左だね



ちよっ！
待っ！

ぶす

ツ、んん——ツ！！

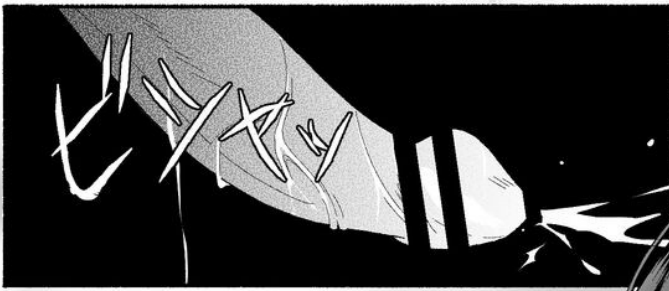
ひ
ちや



ふふふ
すごいね！

少し刺したただけなのに
こんなになるなんて
君男娼の素質があるよ



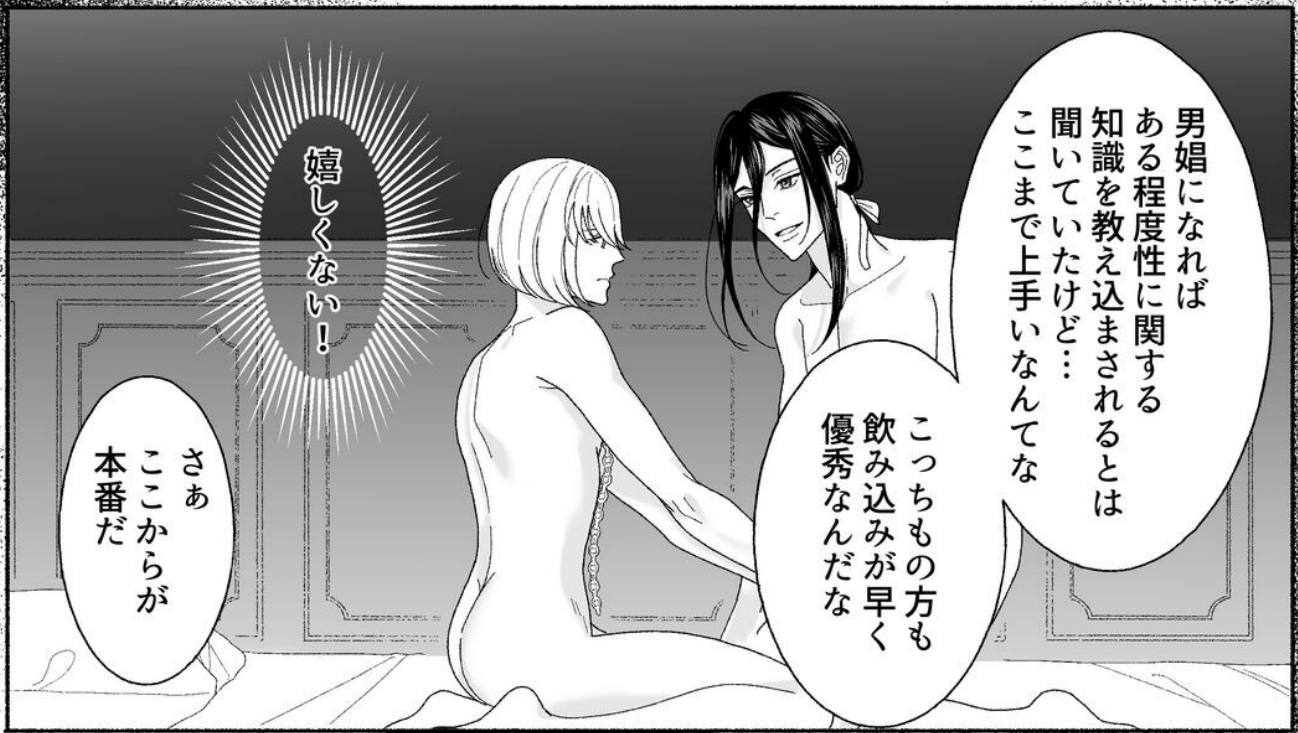


くそっ…!
ヴァインセントは
ボクにこんなことを
命令しなかったのに

どんどん自分が
汚れ落ちていく
感じがする

はあ……
よかったよ
ユーリ





男娼になれば
ある程度性に関する
知識を教え込まれるとは
聞いていたけど…
ここまで上手いなんてな

こっちの方も
飲み込みが早く
優秀なんだな

嬉しくない!

さあ
ここからが
本番だ



君はこれから
色んな男の
パートナーとなり
育てる立場に
なるのだから



本当に最後まで
するおつもりですか!?

当たり前だろう



自分で準備をするんだ

冷た!



さあ、尻をこちらに向けてうつ伏せになって?

早く!



あああ

あ、う…



いやだ

うう…

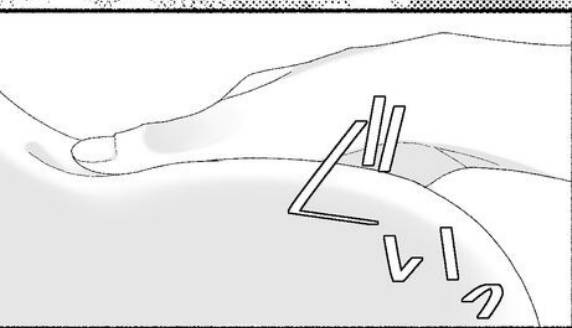
ちゃんと解さないと辛いのは君だよ



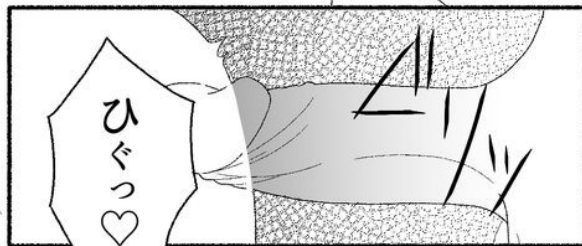
……っ!

準備、できました……

はあ
はあ



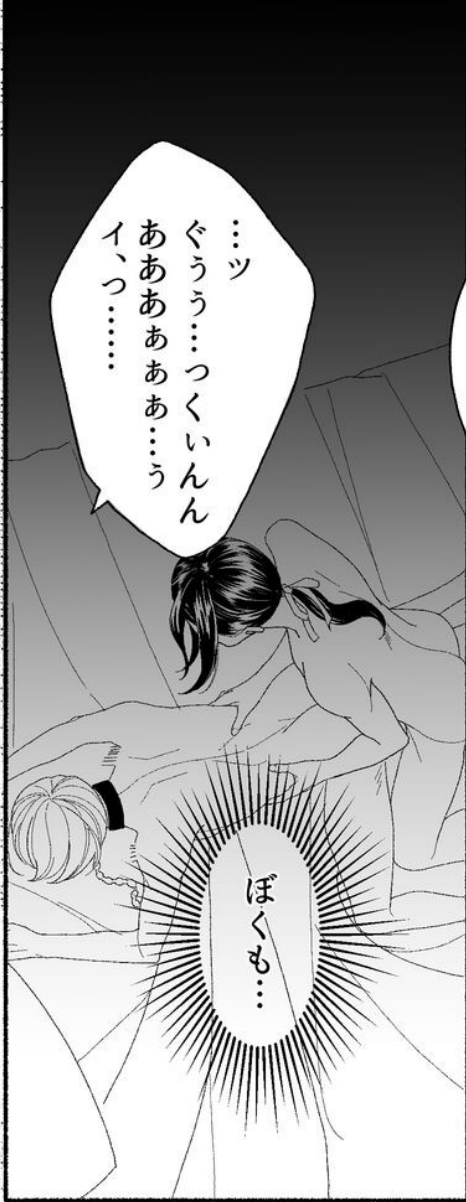
——っ、
イ……うぐ……や、



ひぐっ♡



イツ…、ア、ア、
ああああッ！！



…ツ
ぐうう…つくいんん
あああああ…う
イ、っ……

ぼくも…



はあ…
クソツ

もう…

あがっ
…!



いつちやう!

あああつ!!



…あああつ、
あ、ア—ツ!!

ア
ハ
ア



まだまだ
終わらないよ



あ、あ、
っ…あああ



もう
ムリ…



駄目だ
ちゃんと俺を
満足させてくれよ

あ、あ、うッ……
あ、あああッ——！！

兄上
ヴァインセントです

入れ！

キ

久しぶりだな
ヴァインセント

謹慎が
解けたので
ごあいさつに
参りました

ユーリ……！

今日から新生活だったな
せいぜい勉学に励めよ
ユーリを取り戻したかったら……な

